交付図書の訂正について

令和８年７月３１日付けで入札公告を行った「令和９年度　磐越自動車道　会津若松～西会津間水文調査」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

令和８年１０月１５日

契約責任者
東日本高速道路株式会社
東北支社長　加藤 健治

【訂正内容】
・特記仕様書
・金抜設計書
・金抜設計書（ＣＳＶ）
・参考図

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください。

令和９年度
磐越自動車道
会津若松～西会津間水文調査

交　付　図　書　正　誤　表

令和８年１０月

東日本高速道路株式会社　東北支社
会津若松管理事務所

対象	誤	正	備考
金抜設計書 水質分析試験	内　訳　書 工種・名称・細目 / 単位 / 数量 / 単価 / 金額 / 摘要 直接費 調査ボーリング　粘性土・シルトφ８６mm　ノンコアリング / m / 4 調査ボーリング　砂・砂質土φ８６mm　ノンコアリング / m / 8 孔内試験　現場透水試験 / 回 / 2 水質分析試験　試料採取（既設井戸・河川） / 箇所・回 / 224 水質分析試験　試料採取（観測井） / 箇所・回 / 90 水質分析試験　一般細菌 / 試料 / 20 水質分析試験　亜硝酸態窒素 / 試料 / 20 水質分析試験　塩化物イオン / 試料 / 20 水質分析試験　有機物等 / 試料 / 20 水質分析試験　味 / 試料 / 20 水質分析試験　臭気 / 試料 / 20 水質分析試験　色度 / 試料 / 20 水質分析試験　濁度 / 試料 / 20 水質分析試験　大腸菌 / 試料 / 20 水質分析試験　硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 / 試料 / 20	内　訳　書 工種・名称・細目 / 単位 / 数量 / 単価 / 金額 / 摘要 直接費 調査ボーリング　粘性土・シルトφ８６mm　ノンコアリング / m / 4 調査ボーリング　砂・砂質土φ８６mm　ノンコアリング / m / 8 孔内試験　現場透水試験 / 回 / 2 水質分析試験　試料採取（既設井戸・河川） / 箇所・回 / 224 水質分析試験　試料採取（観測井） / 箇所・回 / 90 水質分析試験　一般細菌 / 試料 / 20 水質分析試験　亜硝酸態窒素 / 試料 / 20 水質分析試験　塩化物イオン / 試料 / 20 水質分析試験　全有機炭素（ＴＯＣ） / 試料 / 20 水質分析試験　味 / 試料 / 20 水質分析試験　臭気 / 試料 / 20 水質分析試験　色度 / 試料 / 20 水質分析試験　濁度 / 試料 / 20 水質分析試験　大腸菌 / 試料 / 20 水質分析試験　硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 / 試料 / 20	訂正

対象	誤	正	備考
金抜設計書 水質分析試験	内　訳　書 工種・名称・細目 / 単位 / 数量 / 単価 / 金額 / 摘要 水質分析試験　電気伝導率(比抵抗) / 試料 / 76 水質分析試験　水素イオン濃度(ｐＨ) / 試料 / 314 地下水位観測　自記水位計設置 / 箇所 / 2 地下水位観測　自記水位計観測 / 箇所・回 / 104 足場仮設　平坦足場(高さ０．３ｍ超) / 箇所 / 2 現場内小運搬 / 地点 / 1 準備及び跡片付け / 式 / 1 機械等運搬 / 式 / 1 流量観測　容器法 / 箇所・回 / 152 流量観測　断面法 / 箇所・回 / 24 ホタル類生息調査　生息確認調査Ａ / km / 1.65 ホタル類生息調査　生息確認調査Ｂ / km / 1.65 ホタル類生息調査　生息環境調査Ａ / 回 / 4 ホタル類生息調査　生息環境調査Ｂ / 回 / 1 報告書作成 / 部 / 1 交通費・宿泊費 / 式 / 1	内　訳　書 工種・名称・細目 / 単位 / 数量 / 単価 / 金額 / 摘要 水質分析試験　電気伝導度(ＥＣ) / 試料 / 76 水質分析試験　水素イオン濃度(ｐＨ) / 試料 / 314 地下水位観測　自記水位計設置 / 箇所 / 2 地下水位観測　自記水位計観測 / 箇所・回 / 104 足場仮設　平坦足場(高さ０．３ｍ超) / 箇所 / 2 現場内小運搬 / 地点 / 1 準備及び跡片付け / 式 / 1 機械等運搬 / 式 / 1 流量観測　容器法 / 箇所・回 / 152 流量観測　断面法 / 箇所・回 / 24 ホタル類生息調査　生息確認調査Ａ / km / 1.65 ホタル類生息調査　生息確認調査Ｂ / km / 1.65 ホタル類生息調査　生息環境調査Ａ / 回 / 4 ホタル類生息調査　生息環境調査Ｂ / 回 / 1 報告書作成 / 部 / 1 交通費・宿泊費 / 式 / 1	訂正

対象	誤	正	備考
特記仕様書 2-8 ホタル類生息調査			訂正

誤

２－８　ホタル類生息調査

ホタル類生息調査とは、設計図書に示す水域におけるホタル類の生息確認、ホタルの幼虫の食物であるカワニナ等の生息状況及び生息水域の水深、流速並びに夜間の照度の調査を行うものをいう。なお、調査項目、目的と内容及び調査予定時期等は下表のとおりとする。

調査実施時期については、監督員と協議し定めるものとする。

生息調査計画、生息確認調査Ａ、生息確認調査Ｂ及び調査結果とりまとめの検測数量は、計画、調査及びとりまとめを行った延長（ｋｍ）とする。生息環境調査Ａ、生息環境調査Ｂの検測数量は、調査を行った回数（回）とする。

調査項目	目的と内容	調査予定時期等
生息調査計画	1）契約締結後に現地踏査を実施し、現地状況を把握するとともに、生息調査計画案を詳細に企画し、その案に基づいて監督員と協議し、生息調査計画を策定するもの。 2）生息調査計画は、調査目的、調査位置、調査方法及び数量等を詳細に記載するもの。	
生息確認調査Ａ	1）ホタルが群集している場所の範囲と概数を記録するもの。 2）ホタルが点在している場所の位置を記録するもの。 3）ホタルの種別を確認するもの。	対象水域でホタルが飛翔する令和９年６月～７月に４回
生息確認調査Ｂ	1）生息確認調査Ａでゲンジホタルとヘイケホタルの成虫が確認された場所において、ゲンジホタルの幼虫の食物であるカワニナの生息状況と、ヘイケホタルの幼虫の食物であるモノアラやタニシ、カワニナの生息状況を確認し、生息密度が高い範囲と概数を記録するもの。	令和９年９月～１０月に２回
生息環境調査Ａ	1）ホタル生息箇所の水深を５箇所測定するもの。 2）ホタル生息箇所の流速を５箇所測定するもの。	令和９年６月、７月、９月、１１月に各１回

正

２－８　ホタル類生息調査

ホタル類生息調査とは、設計図書に示す水域におけるホタル類の生息確認、ホタルの幼虫の食物であるカワニナ等の生息状況及び生息水域の水深、流速並びに夜間の照度の調査を行うものをいう。なお、調査項目、目的と内容及び調査予定時期等は下表のとおりとする。

調査実施時期については、監督員と協議し定めるものとする。

生息調査計画、生息確認調査Ａ、生息確認調査Ｂ及び調査結果とりまとめの検測数量は、計画、調査及びとりまとめを行った延長（ｋｍ）とする。生息環境調査Ａ、生息環境調査Ｂの検測数量は、調査を行った回数（回）とする。

調査項目	目的と内容	調査予定時期等	備考
生息調査計画	1）契約締結後に現地踏査を実施し、現地状況を把握するとともに、生息調査計画案を詳細に企画し、その案に基づいて監督員と協議し、生息調査計画を策定するもの。 2）生息調査計画は、調査目的、調査位置、調査方法及び数量等を詳細に記載するもの。		技師Ｂ： 0.30人・日/km相当 技師Ｃ： 0.30人・日/km相当
生息確認調査Ａ	1）ホタルが群集している場所の範囲と概数を記録するもの。 2）ホタルが点在している場所の位置を記録するもの。 3）ホタルの種別を確認するもの。	対象水域でホタルが飛翔する令和９年６月～７月に４回	地質調査技師： 7.27人・日/km相当 地質調査員： 7.27人・日/km相当
生息確認調査Ｂ	1）生息確認調査Ａでゲンジホタルとヘイケホタルの成虫が確認された場所において、ゲンジホタルの幼虫の食物であるカワニナの生息状況と、ヘイケホタルの幼虫の食物であるモノアラやタニシ、カワニナの生息状況を確認し、生息密度が高い範囲と概数を記録するもの。	令和９年９月～１０月に２回	地質調査技師： 6.06人・日/km相当 地質調査員： 6.06人・日/km相当

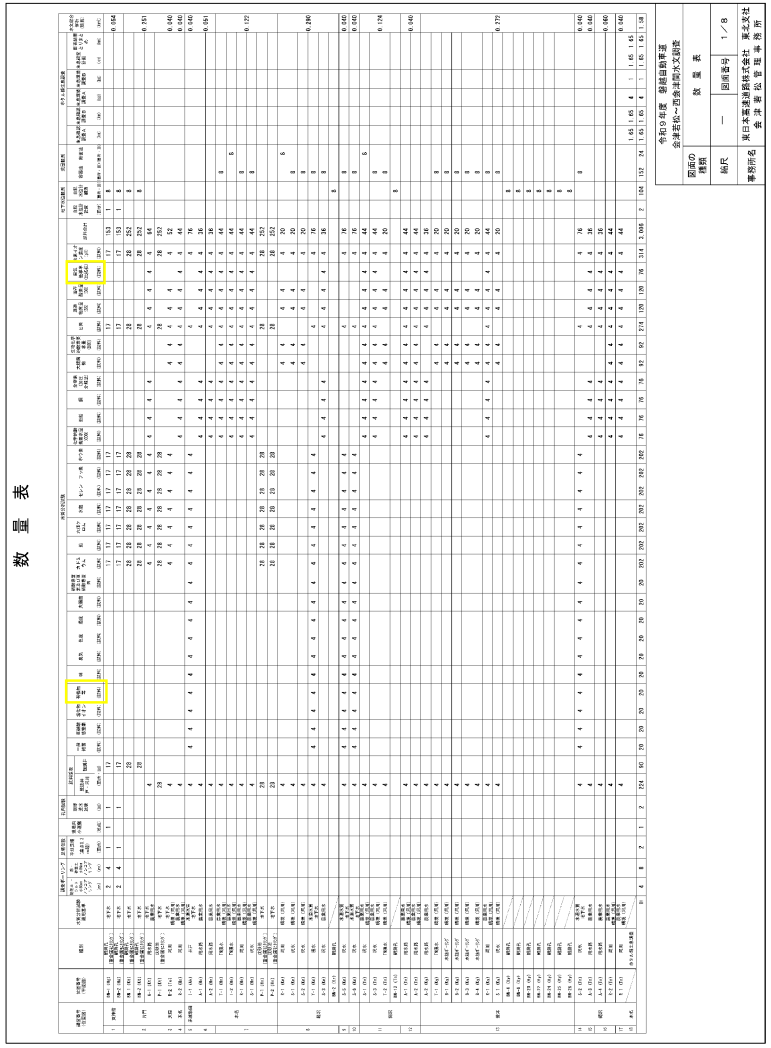
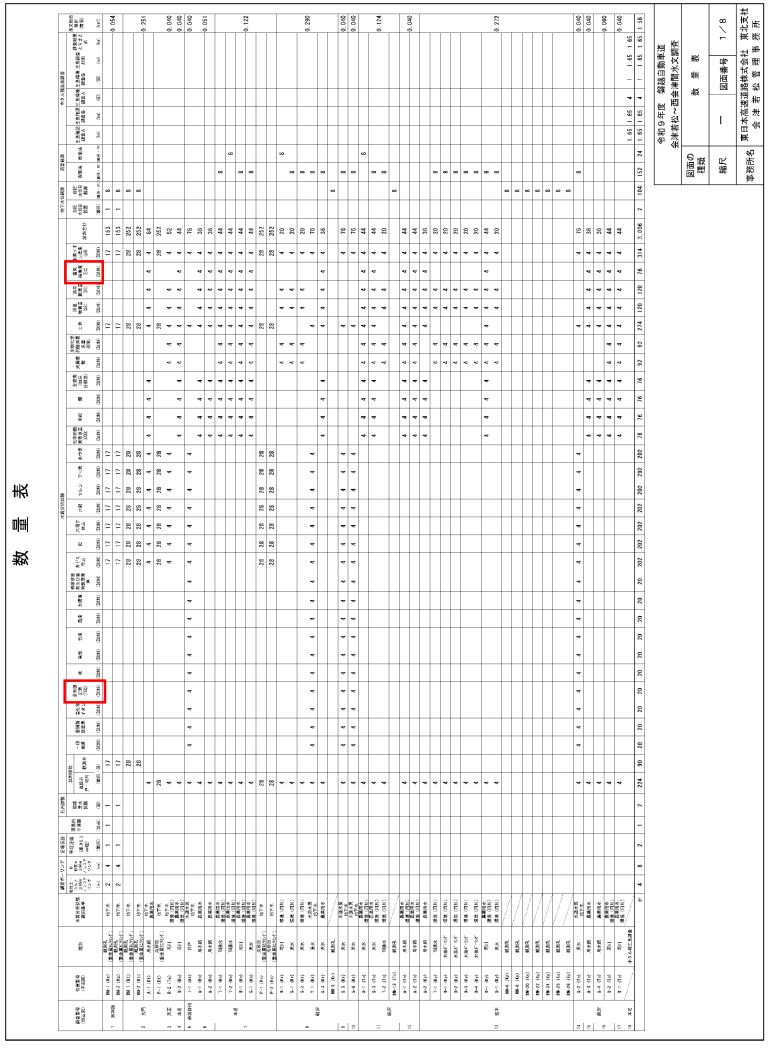
<table>
<tr><th>対象</th><th>誤</th><th>正</th><th>備考</th></tr>
<tr>
<td>特記仕様書
2-8 ホタル類生息調査
2-9 水文総合解析(簡易)</td>
<td>
<table>
<tr><td>生息環境調査B</td><td>1）ホタル生息箇所の照度を測定するもの。
2）調査箇所は、生息確認調査Aで成虫の生息が多く確認された箇所と、生息が確認されなかった箇所で各１０箇所を測定するもの。</td><td>ホタル繁殖時期に近い
令和９年６月</td></tr>
<tr><td>調査結果とりまとめ</td><td>1）生息確認調査、生息環境調査、調査概要、位置図、測定結果、調査結果及び考察等をとりまとめるもの。</td><td></td></tr>
</table>

２－９　水文総合解析（簡易）
水文総合解析（簡易）とは、磐越自動車道 会津若松～西会津間水文調査の補足業務であり、今回実施する各種の調査及び試験結果を含め、以下の内容について報告書にとりまとめる技術業務をいう。なお、水文総合解析（簡易）の検測数量は、解析を行った面積（ｋ㎡）とする。
・ホタル類生息調査を除く調査箇所確認のための現地踏査
・各水質基準値と本業務で実施した試験結果の評価・考察・判定
・測定時期における、流量・地下水位推移状況等の評価・考察・判定
・周辺環境の変化と各調査及び試験結果の評価・考察・判定
・その他工事における水文環境への影響等について評価・考察・判定

２－１０　打合せ
打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め、７回とする。打合せの検測数量は、１式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要が生じる場合の取扱いは、監督員と協議し定めるものとする。
打合せ場所は、東日本高速道路株式会社 会津若松管理事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。
また、Web カメラ及びWeb 会議システム等を活用して打合せを実施する場合の取扱いは、監督員と協議し定めるものとする。

２－１１　報告書作成
２－１１－１　成果品
本業務の成果品は、次のとおりとする。
① 調査報告書　１部
イ）水文総合解析（簡易）
ロ）ホタル類生息調査　調査結果とりまとめ
② 流量観測　計測記録　１部
③ 水質分析試験　データシート　１部
</td>
<td>
<table>
<tr><td>生息環境調査A</td><td>1）ホタル生息箇所の水深を５箇所測定するもの。
2）ホタル生息箇所の流速を５箇所測定するもの。</td><td>令和９年６月、７月、９月、１１月に各１回</td><td>地質調査技師：
2.25人・日/回相当
地質調査員
2.25人・日/回相当</td></tr>
<tr><td>生息環境調査B</td><td>1）ホタル生息箇所の照度を測定するもの。
2）調査箇所は、生息確認調査Aで成虫の生息が多く確認された箇所と、生息が確認されなかった箇所で各１０箇所を測定するもの。</td><td>ホタル繁殖時期に近い令和９年６月</td><td>地質調査技師：
1.50人・日/回相当
地質調査員
1.50人・日/回相当</td></tr>
<tr><td>調査結果とりまとめ</td><td>1）生息確認調査、生息環境調査、調査概要、位置図、測定結果、調査結果及び考察等をとりまとめるもの。</td><td></td><td>技師B：
1.21人・日/km相当
技師C：
3.64人・日/km相当
技術員：
4.85人・日/km相当</td></tr>
</table>

２－９　水文総合解析（簡易）
水文総合解析（簡易）とは、磐越自動車道 会津若松～西会津間水文調査の補足業務であり、今回実施する各種の調査及び試験結果を含め、以下の内容について報告書にとりまとめる技術業務をいう。なお、水文総合解析（簡易）の検測数量は、解析を行った面積（ｋ㎡）とする。
<table>
<tr><th>調査項目</th><th>目的と内容</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>水文総合解析
（簡易）</td><td>・ホタル類生息調査を除く調査箇所確認のための現地踏査
・各水質基準値と本業務で実施した試験結果の評価・考察・判定
・測定時期における、流量・地下水位推移状況等の評価・考察・判定
・周辺環境の変化と各調査及び試験結果の評価・考察・判定
・その他工事における水文環境への影響等について評価・考察・判定</td><td>技師長　：0.94 人・日/k ㎡相当
主任技師：0.94 人・日/k ㎡相当
技師Ａ　：1.89 人・日/k ㎡相当
技師Ｂ　：1.89 人・日/k ㎡相当</td></tr>
</table>
</td>
<td>訂正</td>
</tr>
</table>

対象	誤	正	備考
参考図 数量表	 数　量　表 令和９年度　磐越自動車道 会津若松～西会津間水文調査 図面の種類　数　量　表 縮尺　―　図面番号　1／8 事務所名　東日本高速道路株式会社　東北支社 会津若松管理事務所	 数　量　表 令和９年度　磐越自動車道 会津若松～西会津間水文調査 図面の種類　数　量　表 縮尺　―　図面番号　1／8 事務所名　東日本高速道路株式会社　東北支社 会津若松管理事務所	訂正